

日本と海外における発達障害のある 児童生徒向け教科書の普及の動向と展望

～合理的配慮としての教科書・教科用特定図書の内り方を探る～

発達障害を中心とした障害のある児童生徒の特性等に配慮した日本と海外の教科書の動向について、韓国、米国、日本の研究者・実践家を招き、教科書の内容や工夫点、活用方法について話題提供や研究協議を行う。感覚障害のある児童生徒への教科書の内容や工夫を発達障害のある児童生徒の教育にどう活かすかも考え、インクルーシブ教育システムの構築へ向けた合理的配慮の一つとして、日本における教科書・教科用特定図書の在り方を探る。

とき

9/14^土・15^日 10:00 ▶ 16:00
(9:30 開場)

ところ

広島国際会議場

〒730-0811 広島県広島市中区中島町1-5
(平和記念公園内)

14日 会議運営事務局：定員160人

15日 国際会議ホール「ヒマワリ」：定員300人

〈申し込み先アドレス〉



学校関係者を対象としたシンポジウムです。参加は無料ですが、事前申し込み（8月31日締切）が必要です。

申し込みはEメールとFAXで受け付けます。申し込み先のアドレスは sympo@ujilab.hiroshima-u.ac.jp (QRコード参照)、FAX番号は082-424-7174です。氏名、所属、職名、連絡先、参加希望日（14日のみ、15日のみ、または両日）をご記入の上、件名に「教科書シンポ参加申し込み」と明記し、お申し込みください。

当日は混雑が予想されますので、お早めにお越しください。ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。外国語通訳、手話通訳、要約筆記がつかます。なお、写真撮影・録音・録画はご遠慮ください。

※頂いた個人情報は、本シンポの運営にのみ使用させていただきます。

9/14^土

海外における障害のある児童生徒用教科書

1. 韓国の現状

話題提供：鄭 東榮 氏 (韓国教員大学校教授)
鄭 海東 氏 (白石大学校教授)
姜 美羅 氏 (大邱サイバー大学校講師)

2. 米国における合理的配慮

話題提供：クリス・クリーヴァー 氏 (米国北アイオワ大学教授)

3. 研究協議と質疑応答

プログラムの変更により、「米国における合理的配慮」「韓国の現状」「研究協議と質疑応答」の順で進行いたします。

9/15^日

日本における障害のある児童生徒用教科書

1. 特別支援学校高等部用教科書について

石塚 謙二 氏 (大阪府豊能郡豊能町教育委員会教育長・前文部科学省特別支援教育調査官)

2. タブレットやデジタル教科書活用の実際と課題

中邑 賢龍 氏 (東京大学先端科学技術研究センター教授)

3. 拡大教科書とその応用について

中野 泰志 氏 (慶應義塾大学経済学部教授)

4. 発達障害に配慮・工夫した教科書

梅田 真理 氏 (国立特別支援教育総合研究所総括研究員)

5. 全体協議と質疑応答

インクルーシブ教育システムの構築へ向けた教科書・教科用特定図書の在り方

鄭 東榮 氏、鄭 海東 氏、姜 美羅 氏、クリス・クリーヴァー 氏、石塚 謙二 氏、中邑 賢龍 氏、中野 泰志 氏、梅田 真理 氏

お問い合わせ

主催：広島大学、広島大学大学院教育学研究科（特別支援教育学講座・附属特別支援教育実践センター）

共催：国立大学法人障害児教育関連センター連絡協議会

後援（依頼中を含む）：広島県教育委員会、広島市教育委員会、日本LD学会

広島大学大学院教育学研究科特別支援教育学講座

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1

TEL & FAX: 082-424-7174

E-mail: sympo@ujilab.hiroshima-u.ac.jp (担当:落合)